

6月は土砂災害防止月間

これからの季節は特に注意を！
早めの避難が身を守る

土砂災害の3つの種類

土砂災害とは、降雨などにより山や崖が突然崩れることで、大きく3つの現象に分けることができます。日本の国土は、険しい山地、流れの急な川、雨の多い気候など、土砂災害が発生しやすい自然条件にあるので、特に注意が必要です。

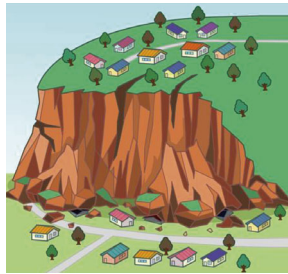
1 土石流

山や谷の石・土砂が大雨によって水と一緒にになり、激しい勢いで一気に下流へ流れ出します。



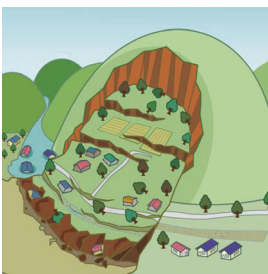
2 崖崩れ

地中に染み込んだ雨などによって斜面の安定性が弱まり、さらに降った雨や地震の影響で突然斜面が崩れます。



3 地すべり

斜面の表土が、地下水と重力の影響によって広範囲で動き出します。



こんな時には特に注意を 土砂災害の前兆現象

- ・急に川が濁る。
 - ・山鳴りがする。
 - ・崖に割れ目ができたり、小石などがパラパラと落ちる。
 - ・地面がひび割れる。
 - ・斜面から水が噴き出す。
 - ・雨が降り続けているのに、川の水が減っている。
- ※普段と違う現象があった際には特に注意しましょう。

防災情報をあなたのスマホにお届けします

市公式 LINE

スマートフォンなどで LINE アプリを開き、友達検索画面で「@takayama」を検索して友達登録していただくか、右のQRコードを読み込んで登録してください。



メール配信サービス

携帯電話から下記アドレスを入力し、手順に従って登録します。また、右のQRコードを読み込むことにより、登録画面に進むことができます。
<https://m.sugumail.com/m/takayama/home>



問合せ 危機管理課 ☎35-3345

防災無線の内容は電話でもご確認いただけます。☎0180-995-690

緊急ご一ろくおん

2022.6



土砂災害は降雨や地震により突然発生し、生命や財産を一瞬にして奪う非常におそろしい災害の一つです。近年は地球温暖化に伴う気候変動の影響などにより、熱帯低気圧の勢力が増したり、ゲリラ豪雨や線状降水帯と呼ばれる局地的な大雨が多くなり、より一層土砂災害への備えが必要になっていきます。

梅雨入りや台風の襲来など、これからの季節は特に警戒が必要です。降雨が続く場合など、気象や避難に関する情報入手し、早めの避難につなげましょう。

また、事前にハザードマップで避難所の場所を確認しておきましょう。